

市町村長・管理職特別セミナー

7月18日、19日の2日間の日程で、令和6年度第2回「市町村長特別セミナー」及び「管理職特別セミナー」を開催し、全国各地から計116人の市町村長、管理職等の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「人口減の未来を見越した自治体経営」と題して、東京大学先端科学技術研究センター教授の牧原出氏から、自治体戦略2040構想研究会や第32・33次地方制度調査会での議論を踏まえた今後の自治体経営として、圏域連携の必要性や地域の未来予測の重要性などについてご講演いただきました。参加者からは、「今後の地域における諸連携の方向性や新しい政策概念について理解を深めることができた」、「未来予測の中で足元を知る（地域カルテ）考え方と連携圏域の捉え方・今後のあり方は参考になった」、「日本全体から見た先進的、効果的な提言、方針が理解でき、人口減少対策に取り組むヒントや指針になると感じた」などの感想をいただきました。

続いて、「新時代の自治体に求められる人材育成・確保」と題して、総務省自治行政局公務員部長の小池信之氏から、国の最新動向をはじめ、地方公務員を取り巻く状況や新しい「人材育成・確保基本方針策定指針」の内容などについてご講演いただきました。参加者からは、「自分の自治体の様々な制度を改めて検討する視点や問題意識を得ることができた」、「今後の人材活用に関し、多くのヒントをいただいた」、「国の制度や方針も大きく変わりつつあることが明らかであり、とても参考になった」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、「AIが拓く自治体の希望と絶望」と題して、経済学者の成田悠輔氏から、選挙制度や市町村長の役割などを題材に、AIやSNSの側面から民主主義と資本主義の関係性と将来展望などについてご講演いただきました。参加者からは、「様々なデータから意思決定する民主主義の改革は興味深いのが、そのベースにどのような価値観をもってアルゴリズムを組むのか、その透明性を維持するか難しいと思った」、「民主主義を長い目で変えていく、そこにAIを活用し政策解を見つけていく、まさしくあり得る話だと思う」、「大きなテーマとしての民主主義、選挙、経済の話で、広く大きくとらえる視座で刺激があった」などの感想をいただきました。

最後に、「日本酒“おんな盛”がはぐくむ地域愛」と題して、にいがた美醸主宰の村山和恵氏から、日本酒やその文化を媒介とした地域振興の取組として、コミュニティの立ち上げの経緯から活動内容について紹介いただくとともに、自身の行動の源やモットーなどについてご講演いただきました。参加者からは、「自治体が今、取り組んでいる地方創生の推進に向けて、地域資源の日本酒の価値を再確認、発信し、魅力を高められることはよいと思った」、「徐々に仲間を増やし、幅広い活動を行うなど、まちづくりの基本で、このような人材を見つけることが大事だと感じた」、「ヒントや学びになる話がちりばめられていてよかった。組織づくりに役立つ部分や住民活動のあり方で考えさせられる部分があった」などの感想をいただきました。

人口減の未来を見越した自治体経営

東京大学先端科学技術研究センター教授
牧原 出氏



新時代の自治体に求められる人材育成・確保

総務省自治行政局公務員部長
小池 信之氏



AIが拓く自治体の希望と絶望

経済学者
成田 悠輔氏



日本酒“おんな盛”がはぐくむ地域愛

にいがた美醸主宰
村山 和恵氏

